

手指対立運動器 ～つまみんJ～

医療法人(社) 日本鋼管病院
錠内広之

【目的】

ピンチ力増強

上肢協調性向上

【製作経緯】

上記目的において、遊びの要素も取り入れた道具を検討する中で製作された。本体にあたる枝は、当院の庭に生えているびわの木を伐採した。また、様々なクリップを利用する事で、訓練自体も飽きないように工夫した。びわの木で作製したのは、生木の暖かさを訓練道具に残し、愛着の沸く道具にしたかった為である。また、木に物がぶら下がっている状態が視覚的にも理解しやすく、訓練方法の指導が容易に行えるのではないかと考えた為である。

【道具の機能性】

外観の美しさ:本物の木を用いており、また木の頂点は松ぼっくりで装飾している。訓練道具としての愛着はもちろんの事、木にぶらさげる洗濯ばさみやクリップの色あいによっては、作業療法室のオブジェとしての役割も担える。

安定性:木は厚さ1.5cmの長方形のベニヤ板の中心に木ネジとボンドによって固定している。また、ベニヤ板の裏には滑り止めマットを貼り付けている為、訓練時の安定性は高い。また、洗濯ばさみやクリップを取りそこない、枝に引っかかった場合でも、道具が倒れることはない。

【使用例】

<対象疾患1>

脳卒中片麻痺やパーキンソン病によって、上肢の協調性に問題を引き起こしている疾患。

<対象疾患2>

上肢や手指の外傷、神経麻痺等によって、手指

対立動作やピンチ力に問題を引き起こしている整形外科的疾患。

<具体的対象疾患>

CVA、パーキンソン病、脊髄小脳変性、上腕骨骨折、頸髄症、中心性頸髄損傷、OPLL等

<使用方法>

ピンチ力増強では、枝に取り付けられた様々な強度の洗濯ばさみを、外したり付けたりする。

上肢協調性向上では、洗濯ばさみを外す程のピンチ力の無い場合は、様々は形のクリップを使用する。

【効果】

木の枝は、様々な強さの洗濯ばさみで挟まれており、手指の対立動作やピンチ力の向上に効果的である。

木の枝には、洗濯ばさみの他に様々な形のクリップもぶらさがっている。これを、取り外したり取り付けたりする動作によって、上肢の協調性の向上にも効果的である。

使用した感想として、この訓練道具自体がOT室のオブジェになり、患者さん同士の世間話の中でも「これ何?」と興味を持つ方もいる。手作りの訓練道具がOT室にいっぱいある事自体が、OT訓練室の雰囲気を作り、ともすればモチベーション作りに役立っている印象がある。

つまみんJ

目的

上肢協調性向上、ピンチ力増強

準備素材

切り落とし枝(太)、ベニヤ板、籐(径 0.8mm)、洗濯バサミ各種

使用道具

のこぎり、木工用ボンド、ドリル、金鋸、釘各種

1. 病院の敷地に生えている、少し太めの枝をこっそり切り落とす。この時、誰にも見つかってはならない。
2. 切り落とした枝にドリルで穴を開け、籐を適当な長さに差し込む。
3. 各種洗濯バサミ等で装飾する。

製作方法

